※令和４年度以降入学生用

学校番号	3033

令和５年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	総合英語Ⅰ	5	第１学年	・New Rays English Communication I (いいずな書店) ・Genius English Logic and Expression I (大修館) ・New Rays English Communication　I Listening WORKBOOK (いいずな書店) ・10 分間英語速読トレーニング　3rd edition Level,2 (桐原書店) ・DUALSCOPE 総合英語　新訂版　(数研出版) ・DUALSCOPE English Grammar in 36 Stages 新訂版　(数研出版) ・Workbook for DUALSCOPE English　Grammar in 36 Stages 新訂版　(数研出版) ・システム英単語　５訂版 (駿台文庫) ・システム英単語　５訂版 For Starters　(駿台文庫) ・Reading Power Basic 基本編　(数研出版) ・Xreading 英語学習者のための多読ツール（デジタル教材）

※令和４年度以降入学生用

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
・音読は英語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。復習の際には英文の音読を繰り返し、見る、聞く、声に出してよむ、といった身体を使って学ぶことで英語の運用能力は上達します。
・言語は短期間で習得できるものではありません。継続して学習することを意識してください。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 ゆっくりはっきりと話されれば、外国の文化・風習などなじみのないことでもその概要を理解することができる。	300 語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。 簡単なマニュアルや手引き書などを理解し、その内容に沿って行動（ゲームや工作など）することができる。	簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。	自分のことや身の回りのことについて簡単な紹介や説明を求められても、即興で適切に応答することができる。	身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。 慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。

３ 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けているかを的確に評価できる方法で実施。	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，英語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるかを的確に評価できる方法で実施。	英語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	Chapter 1 The Future Is Yours	聞くこと	a: ・本文に関する英文を聞き，正誤を判断することができる。 b: 本文の内容に関する英文を聞き，必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら正誤を判断することができる。 c: 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測したり，必要な情報を自発的にメモに取ったりするなど，粘り強く聞くことができる。	授業中の言語活動を観察する 定期考査を用いてチェックする。

※令和４年度以降入学生用

		読むこと	a: 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 b: キャンベル氏の生い立ちを正確に捉え，場面ごとの経験を時系列順に整理して読むことができる。 c:. 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど，粘り強く読むことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
		話すこと (やり取り)	a: 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し，口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 b: Think-Pair-Share の問いに対して自分の言葉で意見を述べながら，短い会話を行うことができる。 c: 文法のポイントを的確に押さえ，自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど，粘り強くやり取りすることができる。	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		話すこと （発表）	a: 本文の内容を理解し，RECAP SHEET を完成させ，発表することができる。 b: イ RECAP SHEET を用いながら，自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる. c: 自分の将来の夢を，自分の表現や身振りなどを使って粘り強く口頭で発表することができる。	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		書くこと	a: 本課で扱う文法の用法や意味を理解し，書く活動において正確に用いることができる。 b: 自身の将来の夢について，その理由・エピソードや実現のために必要な情報を適切に収集・整理し，自分の言葉で書くことができる。 C: 自身の将来の夢について，情報の提示順や構成・内容面の十分な吟味を行い，繰り返し推敲をしながら粘り強く文章を書くことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
	Chapter 2 The Power of Design	聞くこと	a:. 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し，正確に内容を聞き取って解答することができる。 b: 本文の内容に関する英文を聞き，必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら正誤を判断することができる。 c: 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測したり，必要な情報を自発的にメモに取ったりするなど，粘り強く聞くことができる。	授業中の言語活動を観察する 定期考査を用いてチェックする。
		読むこと	a: 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 b: 事実（fact）を正確に捉え，場面ごとの状況や説明内容を正確に読み取ることができる。 c: 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど，粘り強く読むことができる。	授業中の言語活動を観察する音読テストや定期考査を用いてチェックする
		話すこと (やり取り)	a: 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し，口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 b: Think-Pair-Share の問いに対して自分の言葉で意見を述べながら，短い会話を行うことができる。 c:. 発表するアイデアを英語で議論し合い，１つ選出することができる。	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		話すこと （発表）	a: 本文の内容を理解し，RECAP SHEET を完成させ，発表することができる。 b; RECAP SHEET を用いながら，自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。 C; 自分のデザインのアイデアを，自分の表現や身振りなどを使って粘り強く口頭で発表することができる。	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする

※令和４年度以降入学生用

		書くこと	a: 本課で扱う文法の用法や意味を理解し，書く活動において正確に用いることができる b: 自身が考えるデザインについて，その用途と理由を明記しながら説得力のある文章を書くことができる。 c; 自身の考えるデザインについて，内容と理由，構成の十分な吟味を行い，繰り返し推敲をしながら粘り強く文章を書くことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
	中間考査			
	Chapter 3 Plastic Is Everywhere”	聞くこと	a:. 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し，正確に内容を聞き取って解答することができる。 b: 本文の内容に関する英文を聞き，必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら正誤を判断することができる。 c: 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測したり，必要な情報を自発的にメモに取ったりするなど，粘り強く聞くことができる。	授業中の言語活動を観察する 定期考査を用いてチェックする。
		読むこと	a: 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 b: 場面ごとの情報を正確に読み取ることができる。 c: 解が難しい箇所を，文脈や背景知識を活用して推測しながら読むことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
		話すこと（やり取り）	a: 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し，口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 b: 文法のポイントを的確に押さえ，自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝える c: Think-Pair-Share の問いに対して自分の言葉で意見を述べながら，短い会話を行おうとする。	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		話すこと（発表）	a: 本文の内容を理解し，RECAP SHEET を完成させ，発表することができる b: RECAP SHEET を用いながら，自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。 c: 作成したポスターの内容を，自分の表現や身振りなどを使って粘り強く口頭で発表することができる	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		書くこと	a: 水質汚染に関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。 b:. プラスチック問題を解決する手段ついて，その提案と方法を明記しながら説得力のあるポスターを書くことができる。 c: プラスチック問題を解決する手段ついて，内容と理由，構成の十分な吟味を行い，繰り返し推敲をしながら粘り強くポスターを書くことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
	Chapter 4 OriHime - A Vehicle of Your Heart	聞くこと	a: 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し，正確に内容を聞き取って解答することができる。 b: 本文に関する英文を聞き，正誤を判断することができる c: 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測したり，必要な情報を自発的にメモに取ったりするなど，粘り強く聞くことができる。	授業中の言語活動を観察する 定期考査を用いてチェックする。
		読むこと	a: 新出単語や表現に着目し、吉藤氏がどのような思いでオリヒメの開発に至ったのかを読み取ることができる。 b: 場面ごとの登場人物の気持ちを共感的に読み取ることができる。 c:. 理解が難しい箇所を，文脈や背景知識を活用して推測しながら読むことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする

※令和４年度以降入学生用

		話すこと (やり取り)	a:. 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し，口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 b: Think-Pair-Share の問いに対して自分の言葉で意見を述べながら，短い会話を行うことができる。 c: 自分の意見を相手に積極的に伝えようとすると同時に，相手の意見にも十分耳を傾けながら粘り強く柔軟に口頭でのやり取りをすることができる。	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		話すこと (発表)	a: 本文の内容を理解し，RECAP SHEET を完成させ，発表することができる。 b: RECAP SHEET を用いながら，自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。 c: オリヒメの活用法についてグループで協働してディスカッションを行い，魅力的な提案をまとめようとする。	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		書くこと	a: オリヒメに関する質問に対して適切な答えを書くことができる。 b: オリヒメの活用法について自分の意見や必要な情報を適切に分析・整理し，魅力的なスライドまたはポスターを書くことができる。 c: オリヒメの活用法について情報の提示順や構成・内容面の十分な吟味を行い，繰り返し推敲をしながら粘り強くスライドまたはポスターを書くことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
	期末考査			
2 学期	Chapter 5 Satoko and Nada	聞くこと	a: 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し，正確に内容を聞き取って解答することができる。 b: 本文の内容に関する英文を聞き，必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら正誤を判断することができる。 c: 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測したり，必要な情報を自発的にメモに取ったりするなど，粘り強く聞くことができる。	授業中の言語活動を観察する 定期考査を用いてチェックする。
		読むこと	a: 『おにぎり(A RICEBALL)』を読んで，内容を理解することができる。 b: 事実（fact）を正確に捉え，場面ごとの登場人物の気持ちを共感的に読み取ることができる。 c: 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど，粘り強く読むことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
		話すこと (やり取り)	a: 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し，口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 b: Think-Pair-Share の問いに対して自分の言葉で意見を述べながら，短い会話を行うことができる。 c: 翻訳のアイデアをグループ内で議論し，1 つ選出することができる。	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		話すこと (発表)	a: 本文の内容を理解し，RECAP SHEET を完成させ，発表することができる。 b: 『おにぎり(A RICEBALL)』の翻訳をグループでディスカッションすることができる。 c: 『おにぎり(A RICEBALL)』の翻訳をほかのグループと共有できる。	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		書くこと	a: 文化に関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。 b: 『おにぎり(A RICEBALL)』の文脈を考え，ナダのせりふを文字で表現できる。 c: 課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして，定着を図っている。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする

※令和４年度以降入学生用

	Chapter 6 The Voice of Children	聞くこと	a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に，英文の内容を聞き取る技能を身に付けている. b:. 登場人物の置かれている状況などを思い浮かべながら本文を聞くことができる。 c: 登場人物の置かれている状況などを思い浮かべながら本文を聞こうとする。	授業中の言語活動を観察する 定期考査を用いてチェックする。
		読むこと	a: 現在分詞(名詞＋*do*ing)・過去分詞(名詞＋*done*)の機能を理解し，それらが用いられた文の意味を理解し、本文を読むことができる。 b: スラムの子どもたちが直面している現状を認識することができる c: 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど，粘り強く読むことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
		話すこと (やり取り)	a: 本課で学習した文法や語彙・慣用表現を，コミュニケーションにおいて積極的に活用できる。 b: Think-Pair-Share の問いに対して自分の言葉で意見を述べながら，短い会話を行うことができる。 c: 相手の発言の意図を確認しながら，自分の意見を伝えようとしている.	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		話すこと (発表)	a: 自分で書いた原稿をクラスの前で発表することができる。 b: RECAP SHEET を用いながら，自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。 c: 自分で書いたニュース原稿を，自分の表現や身振りなどを使って粘り強く口頭で発表することができる	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		書くこと	a: メディアに関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。 b: 自分でアイデアを考え，英語で各イラストについて表現できる。 c: ニュース原稿について，構成・内容の十分な吟味を行い，繰り返し推敲をしながら粘り強く文章を書くことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
	中間考査			
	Chapter 7 Human Habitation on Mars	聞くこと	a: 宇宙・宇宙探査に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解したうえで本文の内容を聞き取ることができる。 b: 本文に関する英文を聞き，正誤を判断することができる。 c: 本文に関する英文を聞き，正誤を判断しようとする。	授業中の言語活動を観察する 定期考査を用いてチェックする。
		読むこと	a: 宇宙に関する情報を読んで，内容を理解する。 b: 事実（fact）を正確に捉えて読むことができる。 c: 理解が難しい箇所を，文脈や背景知識を活用して推測しながら読もうとする。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
		話すこと (やり取り)	a: 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し，口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 b: Think-Pair-Share の問いに対して自分の言葉で意見を述べながら，短い会話を行うことができる。 c: 文法のポイントを的確に押さえ，自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど，粘り強くやり取りすることができる。	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		話すこと (発表)	a: 本文の内容を理解し，RECAP SHEET を完成させ，発表することができる。 b: RECAP SHEET を用いながら，自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする

※令和４年度以降入学生用

			c: 宇宙旅行についての自分の意見を，自分の表現や身振りなどを使って粘り強く口頭で発表することができる。	
		書くこと	a: 宇宙に関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。 b: 自分が宇宙に行きたいかそうでないかの意見とその理由を英語で表現できる。 c: 自分が宇宙に行きたいかそうでないか，内容と理由，構成の十分な吟味を行い，繰り返し推敲をしながら粘り強く文章を書くことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
	Chapter 8 A Loving Story	聞くこと	a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に，英文の内容を聞き取る技能を身に付けている． b:ラビング事件に関するニュースを聞き，必要な情報を捉えている． c: ラビング事件に関するニュースを聞き，必要な情報を捉えようとしている．	授業中の言語活動を観察する 定期考査を用いてチェックする。
		読むこと	a: 関係副詞 where, when／関係代名詞 what に注意しながら．英文の内容を読み取る技能を身に付けている． b: 単元目標の活動をおこなうために，人権関する本を読み各国の人権問題を比較しながら要点や詳細を捉えている． c: 単元目標の活動をおこなうために，人権関する本を読み各国の人権問題を比較しながら要点や詳細を捉えようとしている	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
		話すこと (やり取り)	a: 本文の内容に関する質問の答えをパートナーと共有し，相手の発言を理解し，やり取りすることができる。 b: 本文の内容について自分の言葉で意見を述べながら，短い会話を行うことができる。 c: 自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど，粘り強くやり取りができる。	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		話すこと (発表)	a: 本文の内容を理解し，RECAP SHEET を完成させ，発表することができる。 b: RECAP SHEET を用いながら，自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。 c;ロールプレイで登場人物になりきり，劇を演じることができる。	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		書くこと	a: 法律・裁判に関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。 b: ロールプレイで自分の演じる役に応じた情報を適切に分析・整理し，魅力的な原稿を書くことができる。 c: ロールプレイについてグループ内で役割分担を行い，その構成・内容の十分な吟味をし，繰り返し推敲をしながら粘り強く原稿を書くことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
	期末考査			
3 学期	Chapter 9 Edo, the Resilient City	聞くこと	a: 災害に関する語彙に着目しながら本文の内容を聞き取ることができる。 b: 事実（fact）を正確に捉え，場面ごとの江戸の人々の気持ちを正確に聞き取ることができる。 c: 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測したり，必要な情報を自発的にメモに取ったりするなど，粘り強く聞くことができる。	授業中の言語活動を観察する 定期考査を用いてチェックする。
		読むこと	a: 仮定法過去，仮定法過去完了／as if＋仮定法に着目しながら本文の内容を読み取ることができる。 b: 事実（fact）を正確に捉え，場面ごとの江戸の人々の気持ちを正確に読み取ることができる。 c: 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど，粘り強く読むことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする

※令和４年度以降入学生用

		話すこと (やり取り)	a: 本課で学習する表現などを用いて，相手の発言の意図を確認しながら，自分の意見を伝える技能を身に付けている. b: 相手の発言の意図を確認しながら，自分の意見を伝えている. c: 相手の発言の意図を確認しながら，自分の意見を伝えようとしている.	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		話すこと （発表）	a: 江戸時代の災害について，本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている. b:防災計画についてについてわかりやすく説明している. c:防災計画ついてわかりやすく説明しようとしている.	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		書くこと	a: 災害に関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。 b: 交換留学生のリクエストを理解し，それに対する自分のアイデアを書くことができる。 c: 交換留学生のリクエストを考慮した旅程表について，構成・内容の十分な吟味を行い，繰り返し推敲をしながら粘り強く文章を書くことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
	Chapter 10 A Quality Education for All	聞くこと	a: 教育に関する語彙に着目しながら本文の内容を聞き取ることができる。 b: 事実（fact）を正確に捉え，主人公がルワンダで取り組んでいる教育プロジェクトについて、聞き取ることができる。 c: 事実（fact）を正確に捉え，主人公がルワンダで取り組んでいる教育プロジェクトについて、聞き取ろうとしている。	授業中の言語活動を観察する 定期考査を用いてチェックする。
		読むこと	a: 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 b: 事実（fact）を正確に捉え，場面ごとの主人公の気持ちを正確に読み取ることができる c: 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど，粘り強く読むことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
		話すこと (やり取り)	a: 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し，口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 b: 今日の世界における教育の役割や意義について，自己に引き寄せて意見を交換することができる。 c: 意見交換を積極的に行おうとしている。	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		話すこと （発表）	a: 本文の内容を理解し，RECAP SHEET を完成させ，発表することができる。 b: RECAP SHEET を用いながら，自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。 c: 作成したポスターの内容やその内容を選んだ理由を，自分の表現や身振りなどを使って粘り強く口頭で発表することができる	授業中の言語活動を観察する パフォーマンステストを用いてチェックする
		書くこと	a: 教育に関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。 b: SDGs で重要だと思う項目について自分の意見や必要な情報を適切に分析・整理し，魅力的なポスターを書くことができる c: SDGs で重要だと思う項目について，情報の提示順や構成・内容の十分な吟味を行い，繰り返し推敲をしながら粘り強く文章を書くことができる。	授業中の言語活動を観察する 小テストや定期考査を用いてチェックする
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度